

庁議の概要

開催日 平成27年8月25日(火)

◎項目

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 台風15号対応について

(危機管理部)

台風15号の7時時点の状況は、久留米市の付近を北北東へ45キロで進んでいる。今後の雨の状況は、6時～明日の朝6時まで150ミリ、多いところで300ミリという雨が予想され、特に夕方6時ぐらいまでは警報レベルの強い雨が降る可能性があるので、注意を。波については、26日の明け方までは6メートルを超えるような高い状況が続く。

雨は多いところでも150～100ミリの間で、まだあまり降っておらず、土砂災害警戒情報も注意報レベルまで達していない。

(知事)

配備体制は、現状維持か。

(危機管理部)

はい。現状は情報収集体制であるが、現状でかまわないと思う。

(知事)

市町村の状況は。

(危機管理部)

現在警報が出てない市町村が6つほどあるが、それ以外は警戒態勢をとっている。

(知事)

傾斜計には気をつけること。

(危機管理部)

傾斜計について確認したところ、まだ大豊町や馬路村はほとんど雨が降っていないので動きはない。

(知事)

宿毛の海、養殖は大丈夫か。このコースは宿毛が一番影響を受ける。

(水産振興部)

心配なところである。

(土木部)

道路については、唯一国道439号線の津野町から梶原町に抜ける道路が雨の関係で止まっている状況。

○ 農業担い手育成センターの重油漏れについて

(農業振興部)

農業担い手育成センターのことで報告する。8月17日に農業担い手育成センターの重油タンクから重油が漏れるという事故が発生した。このタンクは今年2月に完成したハウスで、そこから約1,900リットルの重油が流出をした。今回初めて13日に充填して17日に使おうとしたところ、すぐ機械が切れたため点検したところ空になっていたというもの。

原因は、タンクから機械まで地中を通っているパイプが破損をしていた。破損の原因は、別途の工事をする際にどうも引っ掛けてそこが外れていたようである。

被害の状況を直ちに確認したところ、周辺の河川等で一部流出が確認され、またその地域の地面に重油が大量にしみ込んでいる状況が確認された。河川については、オイルフェンスや吸着マットの設置などにより回収し、土壌の部分についても、それ以上広がらないように溝を掘るとともに、油がしみ込んでいる土地を除去して処理をするという対処を進めている。現在雨が降っており、このしみ込んだ油が拡散しないようにブルーシート等で対処しているが、状況を見ながら影響が広がらないように対処していく。

また、地下水へのしみ込みが心配であり、何カ所か地下水を調査し検査をしているところである。

(知事)

1,900リットル相当の流出先は把握できたのか。

(農業振興部)

はい。地面にしみ込んでいる分については、範囲を想定して、順次土を掘り起こして取り除く作業と、穴を掘ってそこに集める方法で対処しているところ。

(知事)

1,900リットルに見合う範囲を把握できているということか。

(農業振興部長)

はい。きっちりではないが、想定される面を広めに設定し土を取り除く作業をしている。また、地下水は流れる方向があるのでそこには溝を掘って広がらないように対処している。

○最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

- ・ 今日明日については、何といたっても災害対応を最優先にするよう、部局で徹底を。
- ・ 概算要求の時期が迫っており、それぞれ情報収集等はしていると思うが、引き続き最終の収集等を。
- ・ 9月の補正も含め、いろいろな形でそれぞれの計画の上半期の総括と3年半の総括、そしてさらなるバージョンアップについての議論をしているところであるが、鋭意しっかりと検討し、柔軟な発想で対応し、議論をさらに深めていきたい。定例的な会議もあるが、随時協議を追加してもらいたい。また、特に外部の皆さんからの声を柔軟に取り入れていくようにしてほしい。
- ・ ぜひ夏休みを交替で取ってほしい。